

N1 第 11 课 古典文学方丈记（语法）

『方丈記』の前半は、これらの大事件を記し、後半は方丈の庵に過ごす日々のことを綴っています。後半にも心惹かれる記述が多いのですが、彼のすごさは特に前半の大事件を記す時に発揮されています。記録文学の先駆といった面影を宿しています。

いくら大事件を経験しても、時がたつにつれて記憶が不鮮明になり、印象もぼやけてくるのが普通です。ところが、長明さんときたら、三十年以上も前に起こったことを正確に鮮明に記憶しており、それを五十七歳で執筆した『方丈記』に記しているのです。しかも、そこには、たとえば、大饥饉で餓死した人数までしっかり書き記してある。

(山口伸美『日本語の古典』岩波書店による)

《方丈记》的前半部分记述了这些大事件，后半部分讲述的是在方丈庵里生活的日子。后半部分引人入胜的记述很多，但是他（鸭长明）的出色主要是在记载前半部分的大事件时发挥出来的。有着记录文学的先驱的风貌。

无论怎么经历大事件，随着时间的推移，一般记忆会变得不清晰，印象也会逐渐模糊。但是，长明却能准确地清晰地记住 30 多年前发生的事情，并且在 57 岁时把它们写在了《方丈记》里。而且，比方说，在那里面居然记录了在大饥荒里饿死的人数。

语法

1. 带语气的表达方式

ときたら

- * 解释：と言ったら的音变
- * 其他同类表达方式：ったら
- * 意思：如果说～的话
- * 特点：带有惊讶、轻视、烦躁等语气
- * 词性：名词

1. あの人ときたら、いつもぐだぐだしてて、困ります。

- * 那个人真是的，总是懒洋洋的，真让人为难。
- * ぐだぐだ：(1, 拟态) 烦躁，啰嗦；懒洋洋

2. 隣の犬ときたら、人が通るたんびに吠えて、うるさくてたまらないわ。

- * 邻居家的狗真够烦人的，每次有人路过就叫唤，吵死了。
- * 犬吠える：(2, 自下一) 吼叫
- * 堪らない：(4, 形) 受不了

3. 最近の親ときたら、子どもが騒いでも、ちっとも注意しない。

* 最近的父母真够呛，孩子吵闹也不管。

2. 现在进行时的中顿形式

连用形：一ており(肯定)、一ておらず(否定)

て形：一ていて(肯定)、一ていなくて(否定)

1. 樱がすでに散っており、真っ赤なツツジの花が燃え始めました。

* 樱花已经散落，火红的杜鹃花开始怒放。

* すでに：(1, 副) 已经

* 散る：(0, 自五) (花)凋谢，(花、雪等)落下

* 真っ赤：(3, 形动) (颜色)赤红；(脸色)通红

* ツツジ：(0, 2, 名)杜鹃花

* 燃える：(0, 自下一)燃烧，着火；热情洋溢

* 燃やす：(0, 他五)把～燃烧

2. 私自身もボランティア活動を経験しており、子どもにも大学生になったらボランティアさせるつもりでいました。

* 我自己也一直有志愿者活动的经历，一直想要让孩子上大学后也当志愿者。

* ボランティア：(2, 名/volunteer) 志愿者

* ボランティア活動：(6, 名) 志愿者活动

3. このスケジュールは移動時間が考慮されておらず、非現実的だと思います。

* 这个日程没有考虑到移动时间，我觉得有些不现实。

* 移動：(0, 名/自サ) 移动

* 移動時間：(4, 名) 移动时间

* 考慮：(1, 名/他サ) 考虑

* 非現実的：(1+0, 形动) 非现实的

4. しばらく取引をしておらず、ユーザー名もパスワードも忘れてしまいました。

* 有段时间没交易了，忘了用户名和密码。

* 取引：(2, 名/自他サ) 交易

* ユーザーネーム：(5, 名/user name) 用户名

* パスワード：(3, 名/password) 密码